ごあいさつ

私たちのまち北上市は、昔から多くの人が行き交う交通の要所として栄えてきました。

現在でも、展勝地や夏油高原スキー場など、多くの方に当市においでいただいておりますが、近年は特にも当市を訪れる外国人観光客が急増しています。

平成26年に当市で開催されたアジアマスターズ陸上競技選手権大会は、海外から約1,000人の選手・関係者の皆様をお迎えしました。この大会は世界各地の大都市で開催されており、当市のような人口規模の小さい自治体を会場に開催されることはまれで、当市にとっても初めて経験する国際大会でした。言語や文化が異なる外国人選手をお迎えするため、関係機関、市民の協力のもと準備を重ね、おもてなしあふれる大会運営で成功を収めることができました。

現在、北上市には、約400人の外国人が生活しています。言語や文化が異なる環境で、医療機関で受診する時、症状がうまく伝えられなくて困った、災害時に不安を感じるといった外国人住民の声を聞きます。

一方で日本人住民は、困っている外国人を見ても、どのように声をかけてよいかわからず、戸惑っているということがあるようです。

市内の日本人住民と外国人住民がお互いの言語や文化を理解しあって、交流を深め、気持ちよく快適に暮らしていくためにはどのように取り組むべきか、その方向性を示すため、北上市多文化共生指針をとりまとめました。

私たち市民一人ひとりがお互いの文化を理解しあい、地域社会を支える主体と

して共に生きていくという多文化共生社会をつくり上げていくことができるよう皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本指針の策定にあたり、貴重な御意見、御提言をいただきました市民の皆様をはじめ、関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

平成28年2月

北上市長　髙　橋　敏　彦